

文化表現学科

医療

2020年4月1日 更新

科目名	医療管理学概論		単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
カンパリコード	MEA3231		授業形態	講義		
授業の内容	<p>少子高齢化社会など時代が変化する中で、病院の役割・機能も変化してきた。当講座は「医療秘書」の受験資格を得て合格を目指し、就職として人気の高い医療の現場で働くことも視野に入れ、多角的に学ぶ。医療管理学、法律を通して、医療の社会的意味を学ぶ講義にしたいと考える。</p>					
到達目標	<p>1、「医療管理士」の受験資格を得て1・2級合格できる知識を身につけている。 2、医療全般に精通し、医療に関する法律、介護保険知識を理解し、身につけている。 3、患者に信頼される医療従事者としての社会性と教養を養うことに取り組んでいる。</p>					
学位授与方針	<p>幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2・3・4 ）</p>					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 検定に向けての勉強のしかた、講義の受け方	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	学修の流れと検定について理解する	
	第2回	内容	医療と社会の関係 病院事務管理	予習	日本社会の病気の特色について調べる	
				復習	高齢社会における病院について知る	
	第3回	内容	医療秘書業務（1年のまとめ）	予習	医療秘書としての役割、患者の心理を復習	
				復習	検定過去問の確認テスト	
	第4回	内容	医療施設に関する法規① 医療法の概要と歴史	予習	医療法の目的を調べる	
				復習	医療法と医師法の違いを知る	
	第5回	内容	医療施設に関する法規②	予習	通院した医療施設について調べる	
				復習	病院の種類と特色をまとめる	
	第6回	内容	医療施設に関する法規③	予習	過去問プリントで確認する	
				復習	病院施設の適切な役割をまとめておく	
	第7回	内容	医療従事者に関する法規①（医師法他）	予習	医者と医師の歴史について調べる	
				復習	医師法の特色をまとめる	
	第8回	内容	医療従事者に関する法規②	予習	医師の権限と義務について調べる	
				復習	保険医の特色をまとめる	
第9回	内容	医療従事者に関する法規③	予習	医療のインフォームドコンセントについて調べる		
			復習	医療ミスや社会的問題をまとめる		
第10回	内容	その他の関連法規① 薬剤師法	予習	医療ミスについて新聞やニュースを見る		
			復習	医療従事者の各特色をまとめる		
第11回	内容	その他の関連法規② 保険助産師 看護師法	予習	医師不足と地域医療について調べる		
			復習	各法律の役割をまとめる		
第12回	内容	医療と情報 国民医療費の歴史と基礎的概念 保険の種類 と制度	予習	日本と世界の医療保険について調べる		
			復習	国民健康保険制度についてまとめる		
第13回	内容	診療情報 医療費と保険の用語 健康保険の基礎概念 カ ルテと諸記録	予習	自分の持つ保険証を調べてくる		
			復習	種類、所属、用語の意味をまとめる、		
第14回	内容	医療用語と医療倫理についての解説 検定試験の準備	予習	医療用語と医療費の流れを図に示す		
			復習	保険医療費の支払いの流れをまとめる		
第15回	内容	まとめと模擬検定試験実施	予習	各種法律と医療用語、保険用語をまとめる		
			復習	模試の結果から不足部分の再学習をする		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	ノート、レポートの確認、コメントを入れる					
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度（20%）</p>					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項						

科目名	医療秘書実務		単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナンバリングコード	MEA3221		授業形態	講義		
授業の内容	医師、看護師やスタッフとともに患者を支え、そのパイプ役となる秘書は、病院だけでなくあらゆる医療・福祉の現場で求められる人材である。高齢社会の日本の医療現場では、医療秘書は今後最も注目される職種であり、やりがいのある仕事といえる。毎回 10 分程度の医療手話を練習し、患者を支える特技になるよう生かしてほしい。					
到達目標	1. 「医療管理士」検定試験の受験資格を取得し 1.2 級合格に必要な知識を身につけている 2. 医療秘書として患者さんや家族と病院スタッフ、医師のパイプ役となる役割を身につけている。 3. 病院スタッフの仕事理解と患者さんとの対応、マナーを身につけようと取り組んでいる。					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 医療秘書の概論	予習	通院した施設の医療秘書の印象を調べる	
				復習	秘書の役割をまとめる	
	第2回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	日本の医療の歴史を調べる	
				復習	古代から現代の医療の歴史をまとめる	
	第3回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	現代の病院の役割を調べる	
				復習	医療サービスとしての病院をまとめる	
	第4回	内容	医療と社会 その歴史と成立	予習	医師不足と3分診療について調べる	
				復習	秘書の役割をまとめる	
	第5回	内容	業務管理部門 医事課と他の業務の種類	予習	病院の組織について調べる	
				復習	医事課と他課の違いをまとめる	
	第6回	内容	病院組織とマネジメント、インフォームドコンセントと QOL	予習	インフォームドコンセントについて調べる	
				復習	組織としての図をまとめる	
	第7回	内容	医療秘書業務 医療秘書の資質と役割	予習	ビジネス秘書との相違点を調べる	
				復習	どんな秘書が求められるかをまとめる	
	第8回	内容	言葉遣い、態度、コミュニケーション能力	予習	自分の理想的秘書のイメージを調べる	
				復習	患者や他者と人間関係を作る意味をまとめる	
第9回	内容	ディスカッション (初診患者の気持ち・ガンの恐れについて)	予習	通院患者、初診の患者の気持ちについて調べる		
			復習	患者の心理をまとめる		
第10回	内容	医療現場の特殊性 患者の心理と医療者の対応、守秘義務について	予習	医療の個人情報について調べる		
			復習	守秘義務についてまとめる		
第11回	内容	接遇、挨拶と病院での身だしなみ・医療コミュニケーション	予習	医療用語 (病院用語) について調べる		
			復習	プリントで確認する		
第12回	内容	カルテ他の書類の管理について	予習	病院の書類について調べる		
			復習	保管方法をまとめる		
第13回	内容	保管年数と扱いについて規定を理解	予習	カルテ他の種類を調べる		
			復習	表にしてまとめる		
第14回	内容	保管年数と扱いについて規定を理解	予習	保険の種類を調べる		
			復習	会社と地域の相違点をまとめる		
第15回	内容	医療秘書業務に関する検定試験の過去問題集	予習	プリントで確認しておく		
			復習	知識不足の箇所をやりなし身につける		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	ノート、レポートの確認とコメント記入					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60 %)、レポート・課題 (20 %)、作品・発表 ()、実技 ()、授業態度 (20 %)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名)					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)					
注意事項						

科目名	医学一般		単位数	2	実務経験	担当教員 ふくだ たけすみ 福田 健純
ナバリングコード	MEA3222		授業形態	講義		
授業の内容	<p>人体の解剖及び生理機能、病態についての基礎知識を器官ごとに Power Point を用いて講義していく。</p> <p>身体の中で何が起きていて、どのようにはたらいているのかを理解することで、病気の発生のメカニズム、回復のメカニズムを理解し、治療方法へ応用し、看護、診断の補助に役立てる。</p>					
到達目標	<p>1. 人体の各部名称が言える。</p> <p>2. 人体の器官のはたらきを説明できる。</p> <p>3. 正常(健康)と異常(病気)の区別ができ、ある程度理解できる。</p> <p>4. 病気の治療方針を理解できる。</p>					
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (②・③・④)					
授業計画	第1回	内容	医学の講義進行に関する説明 細胞：生物の基本単位である細胞を各種小器官の名称と働きについて解説していく。	予習	初回は必要ありません	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第2回	内容	神経系：脳の肉眼的な構造から細胞レベルまで掘り下げて名称とはたらきについて解説していく。	予習	第1回の講義で神経系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第3回	内容	循環器系：心臓の構造、拍動の仕組みなど基礎的な部分から、弁膜症や心不全、高血圧、動脈硬化などについて解説していく。	予習	第2回で循環器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第4回	内容	呼吸器系：気道・肺の構造、換気やガス交換、ガス運搬、身体の pH の調節について解説していく。	予習	第3回で呼吸器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第5回	内容	骨格・筋肉系：骨の種類と構造、関節の種類と構造、骨代謝についてと、骨格筋の構造、筋肉の収縮の方法について解説していきます。	予習	第4回で骨格・筋系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第6回	内容	消化器系：食道から肛門まで、消化管の構造とそれに付属するすい臓や肝臓について解説していきます。	予習	第5回で消化器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第7回	内容	泌尿器系：腎臓の構造と生理機能である尿の生成について、その意義とそれに伴う身体の水分、血圧、pH の調節機構を説明する	予習	第6回で泌尿器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第8回	内容	生殖系：男性生殖器と女性生殖器の構造と機能、受精・妊娠・出産について解説していく。	予習	第7回で生殖系系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第9回	内容	内分泌系：ホルモンの性質とはたらき、主要な内分泌腺について構造・作用について解説していく	予習	第8回で内分泌系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第10回	内容	血液：血液成分である赤血球、白血球のはたらき血液型について解説していく	予習	第9回で血液のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第11回	内容	皮膚・感覚系：視覚、聴覚、嗅覚、味覚、皮膚感覚について解説していく	予習	第10回で皮膚・感覚器のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第12回	内容	感染：感染症発症のメカニズム、起炎病原体の特徴、病原体の検出方法などについて解説していく	予習	第11回で感染のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第13回	内容	免疫系：免疫系の機序(自然免疫と獲得免疫)について解説していく	予習	第12回で免疫のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第14回	内容	一般検査：尿検査(尿試験紙法、尿沈渣検査)、便検査、穿刺液検査	予習	第13回で一般検査のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第15回	内容	血液学検査：血液中の細胞成分を対象にした検査で、検査のポイント臨床上の意義を解説	予習	第14回で血液学検査のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポートを作成	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 180 分以上を目安とする。						
課題へのフィードバック	<p>作成された課題レポートは、A～D で評価し、点数化して成績に反映させます。</p> <p>なお、レポートの中で感じた疑問点、質問などにはコメントを書いて返却します。</p>					

成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 「なし」
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 「なし」
注意事項	レポートは、参考とする配布物を熟読し、理解し、自分なりの表現方法で作問、解説を行う。配布物を丸写しするような書き方にならないように注意する。

科目名	薬学一般		単位数	2	実務経験	担当教員 ふくだ たけすみ 福田 健純
ナバリングコード	MEA3223		授業形態	講義		
授業の内容	医学一般で学習した身体の基礎を応用して病気の成り立ちと、病気の診断に至る過程を解説していく。その中で、各種臨床検査の必要性と手技を理解していく。講義では、PowerPoint およびカラー解説集を用いて講義していく。					
到達目標	1. 各器官の代表的な病気が挙げられる。 2. 病気の成因を概説できる。 3. 臨床検査の種類を挙げ、意義を説明できる。 4. 代表的な治療薬を説明することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（②・③・④）					
授業計画	第1回	内容	細胞：細胞が集まってできる、組織や器官について解説し、細胞周期やその異常に伴って生じる腫瘍について解説していく	予習	初回は必要ありません	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第2回	内容	神経系：運動神経、感覚神経、自律神経、大脳基底核、小脳の働きについて解説していく。	予習	第1回で神経系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第3回	内容	循環器系：心臓の構造理解を受けて、心電図の理解と血圧の測定方法などについて解説していく。	予習	第2回で循環器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第4回	内容	呼吸器：肺の疾患や肺に関わる周辺臓器の疾患などを解説していく。	予習	第3回で呼吸器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第5回	内容	骨格・筋肉系：骨の疾患である骨折や骨粗鬆症、関節の疾患である脱臼、リウマチ。筋肉の疾患である肉離れなどについて解説	予習	第4回で骨格・筋系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第6回	内容	消化器系：各消化器官にける代表的な疾患について紹介し、解説を行っていく。	予習	第5回で消化器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第7回	内容	泌尿器系：腎臓の疾患に関する解説と、尿路の構造とそこに関わる疾患について解説していく	予習	第6回で泌尿器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
	第8回	内容	生殖器系：男性生殖器、女性生殖器に関わる疾患について解説していく	予習	第7回で生殖器系のプリントを配布するので一読してくる	
				復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成	
第9回	内容	内分泌系：ホルモンの分泌異常に伴う疾患について解説していく。	予習	第8回で内分泌系のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第10回	内容	血液：血液の疾患である貧血や血友病などについて解説していく	予習	第9回で血液のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第11回	内容	皮膚・感覚器：皮膚・感覚器に関する疾患について視力の異常や、色覚異常、難聴などについて解説していく	予習	第10回で皮膚・感覚器のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第12回	内容	感染：抗菌薬の作用機序と耐性機構、予防としてのワクチンや消毒、滅菌法について解説していく	予習	第11回で感染のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第13回	内容	免疫系：免疫系の過敏反応アレルギーや、逆に免疫不全症AIDSについて解説していく	予習	第12回で免疫のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第14回	内容	血液生化学検査1：血液の成分を血漿と血球に分け、血球成分からわかることを解説していく。	予習	第13回で血液生化学検査のプリントを配布するので一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
第15回	内容	血液生化学検査2：血液の成分を血漿と血球に分けたとき、血漿成分からわかることを解説していく。	予習	第13回で配った血液生化学検査のプリントを一読してくる		
			復習	講義内容を受けて、内容に関するレポート作成		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね180分以上を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成された課題レポートは、A～Dで評価し、点数化して成績に反映させます。 なお、レポートの中で感じた疑問点、質問などにはコメントを書いて返却します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）					

教科書	『書名』（著者名、出版社名） 「なし」
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 「なし」
注意事項	レポートは、参考とする配布物を熟読し、理解し、自分なりの表現方法で作問、解説を行う。配布物を丸写しするような書き方にならないように注意する。

科目名	医療事務総論		単位数	1	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナバリングコード		授業形態	講義			
授業の内容	日本の国民は、すべての人が何らかの保険に加入し、医療サービスを受けられる制度がある。各種保険の仕組み・種類を理解し、診療報酬の請求がどのように決定され、各自の負担額が決まるのかを学習する。健康で文化的な生活の中に医療保険の果たす役割の重要性を知り、医療利用者の支援をする。					
到達目標	1、医療保険制度の基礎的知識を得て「医療管理士」の資格を得る。 2、医療保険事務を理解し、演集によって診療報酬請求書作成のスキルを身につけている。 3、医療の現場では、診療報酬請求の内容を理解し、医療消費者の支援者として知識を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3・4 ）					
授業計画	第1回	内容	医療保険の概略 実演集（1）レセプトの意味	予習	自分の属する医療保険を調べる	
				復習	現在の国民皆保険制度の問題をまとめる	
	第2回	内容	医療保険の種類と給付 実演集（2）レセプト基礎	予習	各種保険の表を調べる	
				復習	保険者、被保険者の特色をまとめる	
	第3回	内容	医療保険制度 地域保健と社会保険、その他の保健との比較と概要	予習	被保険者と給付について調べる	
				復習	用語の意味と流れについてまとめる	
	第4回	内容	全国健康保険協会と組合管掌健康保険 給付の仕組み（3）レセプト実践	予習	各保険協会の設立基準について調べる	
				復習	レセプトの復習をする	
	第5回	内容	国民健康保険制度とその他の医療制度 給付の仕組み（4）レセプト実践	予習	各種給付の種類と規定について調べる	
				復習	レセプト実践で確認する	
	第6回	内容	介護保険の概要	予習	介護保険の介護認定度を調べる	
				復習	介護保険の基準と内容をまとめる	
	第7回	内容	医療と情報	予習	高齢社会での介護保険の役割を調べる	
				復習	将来の介護保険の望む形をまとめる	
	第8回	内容	報酬請求 総括	予習	日本の医療保険の問題を調べる	
				復習	解決策と見通しをまとめる	
第9回	内容		予習			
			復習			
第10回	内容		予習			
			復習			
第11回	内容		予習			
			復習			
第12回	内容		予習			
			復習			
第13回	内容		予習			
			復習			
第14回	内容		予習			
			復習			
第15回	内容		予習			
			復習			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎回のレポート、レセプトの確認とコメントをいれる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、実技（30 %）、授業態度（20 %）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項	夏休みの集中学修ですので、アルバイトや帰省の調整をし、休まないことを希望する					

科目名	医療保険請求事務演習		単位数	1	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナバリングコード		授業形態	演習	有・無		
授業の内容	医療保険では、診療行為に対して定められた点数が金額となり、窓口で請求される。この診療報酬請求事務は、現在日本のどの医療機関でも求められる資格である。医療の需要の高まる日本では、大変注目されているのは、医療事務検定に合格した医療秘書により正しい請求が行われることで医療に対する信頼が高まるからである。					
到達目標	1、「医療管理士」検定試験の1,2合格を目押し、実践力を身につけている。 2、医療事務の基礎的知識とレセプトコンピュータの扱いを身につけている。 3、診療報酬請求（レセプト）のスキルを身につけ、就職活動で生かせることを理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2・3・4）					
授業計画	第1回	内容	レセプトの書き方	予習	テキストを読みレセプトの必要性を理解する	
				復習	用紙の使い方と用語をまとめる	
	第2回	内容	① 初診料 その意味と計算の基礎知識	予習	初診算定ルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
	第3回	内容	② 再診料 その意味と計算の基礎知識	予習	再診算定ルールを知る	
				復習	実践問題で確認する	
	第4回	内容	③医学管理料 その意味と計算の基礎知識	予習	医学管理料のルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
	第5回	内容	③在宅医療料 その意味と計算の基礎知識	予習	在宅管理料のルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
	第6回	内容	⑤投薬料 意味・種類・方法	予習	投薬料のルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
	第7回	内容	⑥注射料 意味・種類・方法	予習	注射料のルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
	第8回	内容	⑦処置手術麻酔料 方法、計算基礎知識	予習	処置等のルールを調べる	
				復習	実践問題で確認する	
第9回	内容	⑧ 検査料 カルテ 情報の取り方 基礎計算練習 請求書の作成	予習	検査料のルールを調べる		
			復習	実践問題で確認する		
第10回	内容	⑨画像診断 カルテ 情報の取り方 基礎計算練習 請求書の作成	予習	画像診断料のルールを調べる		
			復習	実践問題で確認する		
第11回	内容	⑩入院 算定基準 カルテによる診療報酬請求演習	予習	入院の算定基準とルールを調べる		
			復習	実践問題で確認する		
第12回	内容	精神科、リハビリ科、現代医療の高度化、専門化に伴う変化と基礎知識	予習	精神科等のルールを調べる		
			復習	実践問題で確認する		
第13回	内容	入院、外来の比較 カルテによる診療報酬請求（レセプト）の記載実習	予習	入院、外来の算定基準を比較し調べる		
			復習	実践問題で確認する		
第14回	内容	実演集 カルテによる診療報酬請求（レセプト）の記載実習と計算	予習	1年生の学習範囲を過去問題で調べる		
			復習	検定模試テストで1年生の実技を確認する		
第15回	内容	実演集 過去問題を時間内で仕上げる実践試験	予習	2年生の範囲を過去問題で予習する		
			復習	レセプトの実践模試をやり確認する		
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎回その日の作成したレセプト練習は採点し、コメントをいれる					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（50）％、作品・発表（ ）％、実技（30）％、授業態度（20）％					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項	夏休みの集中学習となりますので、アルバイトや帰省は調整し、欠席の無いように参加すること。					